

体験入学・セミナー日程

城内キャンパス(第1校地)と久野・荻窪キャンパス(第2校地)で同時開催

体験入学セミナー・学校説明・相談会 〈午前9時〜〉

第1回	7/23(土)	第2回	8/27(土)	第3回	9/10(土)	第4回	10/8(土)
第5回	10/29(土)	第6回	11/5(土)	第7回	11/19(土)	第8回	11/26(土)
第9回	12/3(土)	第10回	12/10(土)	第11回	2023 1/7(土)		

文化祭

ー見学と相談会ー

11/12(土)

〈午前10時〜午後2時〉

中学生と保護者の皆さんは
見学できます。
お問い合わせは旭丘高校
事務所まで。

2023(令和5)年度 生徒募集

募集定員 533名(推薦266名、一般267名) **募集学科** ■ 普通科(男女) 270名 ■ 総合学科(男女) 263名

※ 総合学科には「大学進学クラス」のジェネラルクラス(学業)進学クラス・スポーツ進学クラスの2つと、「国際クラス」「進路探求クラス」「不登校ベーシッククラス」があります。

※ 総合学科の大学進学クラス(学業とスポーツ)と国際クラスには大学進学者を対象にした「特別奨学生制度」(主として学業に関するものと主としてスポーツ・個性に関するものの2種類)があります。詳細は本校体験入学の特設講座や地区別相談会などの場でおたずねください。

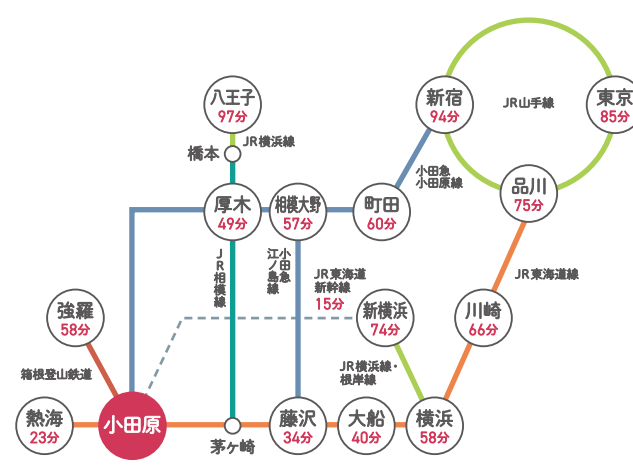
※ 普通科には「一般クラス」「クリエイティブクラス」「不登校生ベーシッククラス」があります。

ACCESS

小田原駅からのアクセス 車・徒歩



小田原駅までのアクセス 電車・新幹線



！HPもチェック！



<http://www.niina-gakuen.jp>

学校法人新名学園 旭丘高等学校

第1校地 | 〒250-0014 神奈川県小田原市城内1番13号
TEL 0465-24-2227(代) FAX 0465-22-0216

第2校地 | 〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪1980
TEL 0465-21-0660(代) FAX 0465-21-0680

ASAHIGAOKA

SENIOR HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDEBOOK 2023



学校法人新名学園 旭丘高等学校

一人ひとりの夢実現

Asahigaoka Senior High School



創立から120年 一人ひとりの個性を大切にする 変わらぬ教育、変わり続ける教育

時代を見つめた教育を展開し
生徒の未来を拓きます

Think Globally, Act Locally

新名学園旭丘高等学校は、今年10月1日に創立120周年を迎えます。
これまで「小田原のまちが教室」として地域とともに歩み、
オリジナリティあふれる教育プログラムを開発し、
生徒一人ひとりの個性を輝かせ、それぞれの未来へ羽ばたかせてきました。
そして今、Think Globally, Act Locallyの視野をもった
足もとからのグローバル教育も展開しながら
「次代の旭丘」の創造を目指していきます。

CONTENTS

01	創立120周年 未来をみつめて	18	>>>【総合学科】大学進学・学業進学クラス
03	旭丘高校で活躍している先輩たち	19	>>>【総合学科】大学進学・スポーツ進学クラス
05	一人ひとりを見守り応援します	21	>>>【総合学科】進路探求クラス
06	充実した進路・進学指導体制で生徒をサポート	22	>>>【普通科・総合学科共通】ベーシッククラス
07	ホームルーム活動 / SDGsと私たちの取り組み	23	年間行事
08	進化するICT教育 / 国際連携教育	25	クラブ活動
09	緑の自然環境に抱かれたグラウンド	27	第一校地(城内キャンパス)
10	インターンシップ / 長崎修学旅行・平和学習	29	第二校地(久野・荻窪キャンパス)
11	旭丘高校のキャリア教育	31	卒業生の進路
13	旭丘高校の学科・クラスの構成 / カリキュラム	32	学費支援
15	>>>【普通科】一般クラス	33	創立120周年を迎えて
16	>>>【普通科】クリエイティブクラス	34	建学の精神を訪ねる / 学校長からのメッセージ
17	>>>【総合学科】国際クラス		



学校生活をがんばっている生徒にきいてみました。

勉学、相撲の実力、日本の文化と挨拶

Q 学校生活・部活の中で身につけたことは？

多角的な視点や社会に対する問題意識を持つこと

Q 学校生活・部活の中で身につけたことは？

仲間を信じ、最後までやり抜くこと

Q 学校生活・部活の中で身につけたことは？

部活の結果をクラスの全員に喜んでもらったこと

Q 部活に入ってからよかったことは？

大学レベルの授業を受けられること

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

努力すれば結果が絶対出ること

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

頑張っている人がたくさんいて刺激を受けられる

Q 旭丘高校のいいところは？

学習に不安があっても先生が一から教えてくれる

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

どこの高校よりも長く部活ができる

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

自己分析し、苦手を克服する重要性を学んだ

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

社会に対して問題意識を持ち、考えて生活するようになったこと

Q 部活に入ってからよかったことは？

文武両道ができること

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

自己ベストが出た瞬間

Q 一番嬉しかったことは？

進路について早めに考えてくれるところ

Q 旭丘高校のいいところは？

楽しい3年間が待っています！

Q 中学生のみなさんにヒトコト

仲間の大切さ

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

違うスポーツの良いところを吸収できる

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

色々な人がいて考えが広がる

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

放課後の自習室で友達や先生と相談しながら学べる

Q 旭丘高校のいいところは？

常に感謝の気持ちを持つこと

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

人として成長できたこと

Q 部活に入ってからよかったことは？

責任感とコミュニケーション能力

Q 学校生活・部活の中で身につけたことは？

人を尊ぶ気持ち

Q 学校生活・部活の中で身につけたことは？

先生たちが明るく生徒思いなところ

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

駅からすごく近い！！

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

最後の体育祭、クラスのみんな悔いなく楽しくできたこと

Q 一番嬉しかったことは？

仲間と同じ景色を見て高い目標に取り組める

Q 部活に入ってからよかったことは？

豊かな自然の中で勉強と部活ができること

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

似た目標の人が多く、互いを高め合えること

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

国際交流や自分に合った学びができる高校です

Q 中学生のみなさんにヒトコト

自ラ行方という積極性

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

技術はもちろん、人との関わり方を学んだ

Q 学校生活・部活の中で身につけたことは？

自学自習の大切さ

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

社会で役立つ礼儀や挨拶

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

頑張ってきた仲間と世界大会で優勝したこと

Q 一番嬉しかったことは？

好きな野球が毎日でき、勉強と両立できること

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

自分の言動に責任をもつことの大切さ

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

日常で異文化交流ができ尊重しあうこと

Q 学校生活・部活の中で学んだことは？

将来の夢を見つけた

Q 旭丘高校に入学してよかったことは？

卒業生たちから中学生へメッセージ

シャグダルスレン・ダライヤートルさん
2018年度卒業
日本体育大学4年生

〈メッセージ〉
6年前の春にモンゴルから入学した自分が、たくさんの人の支えの中で成長させてもらい今年6月には母校・旭丘高校で教育実習をすることが出来ました。みなさんも旭丘高校で自分の無限の可能性に挑戦してください。

梅林 葉さん
2016年度卒業
私立高校教員

〈メッセージ〉
旭丘高校は、ホームルーム活動を基盤とした生徒会活動が活発で、様々な個性をもった生徒たちがお互いを認め合い、支え合っている学校です。みなさんも仲間との交わりの中で自分らしさを確かめ、学び成長してください。

古本 健優さん
2014年度卒業
小学校教員

〈メッセージ〉
高校3年生のときに箱根小湧園で行なったインターンシップで、人の役にたつ喜びとともに集団や社会の一員としての責任の重さを知りました。みなさんも地域や社会とかわる活動の中で学びを広げていってください。

林 怜哉さん
2017年度卒業
消防士(公務員)

〈メッセージ〉
学生時代、怪我に苦しみながらそれを克服し、大学4年生で全国大会個人戦優勝を果たすことができました。みなさんも、夢をもって、自分を信じて努力を続ければ、どんな壁も乗り越えていくことができます。と思います。

野地 高良さん
2019年度卒業
中央大学文学部3年生

〈メッセージ〉
旭丘高校では、多様なカリキュラムの中で、自分のやりたいこと、得意なことを見つけることができます。皆さんも旭丘高校で授業や部活動に励み、仲間との交流を重ね、自分の新たな可能性を見つけていってください。

山本 克洸さん
2018年度卒業
東京藝術大学美術学部3年生

〈メッセージ〉
担任の先生が自分の才能を認め、文化祭企画として油絵を描く機会を与えてくれたことが進路決定のターニングポイントになりました。みなさんも自分の個性を伸ばしてくれる旭丘高校の環境で夢を実現してください。

個性を伸ばし 夢を育む

一人ひとりを見守り 一人ひとりを応援します

本校は、将来を見据えながら進学を目指すクラスや国際的な視野と知識を育むクラス、学び直しからスタートして進路を拓いていくクラスなど、一人ひとりの生徒が、その個性にふさわしい場所で学べるクラスを用意しています。またクラス担任をはじめクラスや学年の枠を超えて、教員が生徒を見守り、それぞれの進路や目標達成を応援し、サポートしていく校風があります。「3年間で大きく成長した」「将来の夢を見つけた」、多くの生徒からそういう声があがっているのも、個性を伸ばして夢を育む、本校ならではの寄り添う指導の証です。

充実した進路・進学指導体制で生徒をサポート

01

本校では「学力」とともに「心」の成長を実現するキャリア教育を3年間通して行っています。大学進学に関してはキャリアガイダンスを随時実施して、自分が学びたい課題や将来の目標を見出し、それに合わせた進路指導へとつなげています。担任と進路指導部が連携し、一人ひとりが希望する進路実現をサポートします。

国際クラス

多国籍の生徒が刺激し合い学び合い成長しています

2020年度に新設された国際クラスは9カ国の生徒が在籍しています。国際分野の進路を考えている、国際的な視野を習得したいといった考えをもつ生徒たちに応えるカリキュラムが特徴です。外国籍の生徒には体系的な日本語学習を、日本人の生徒には英語や中国語をはじめとする外国語教育を用意しています。また異なる母国語、文化的背景をもつ生徒たちが、お互いに理解を深め、刺激し合う日常生活からも国際感覚が磨かれています。



大学進学・学業進学クラス

自分の将来を見据えた大学進学を実現する環境があります

高校での学びで、よりレベルの高い大学進学を目指す生徒に応えるクラスです。大学進学的基础となる英数国を重点的に学ぶカリキュラム構成が特徴。キャリア教育において将来の進路や目指したい職業などを方向付けて、それに応じた学部学科を検討していくために、充実した進学指導体制を整えています。また週2回の「進学特別講座」で、伸ばしたい科目のレベルアップを図ることができ、朝学習なども効果的に取り入れて学習できる環境があります。



大学進学・スポーツ進学クラス

スポーツを起点にして希望に応じた進路が拓けます

本クラスの進路の特徴は大きく2つあります。一つは高校時代に全国大会出場などの実績をもとに推薦で大学へ進む「アスリート」タイプの進路。もう一つは、学業とスポーツ両面でバランスのとれた高校生活を送り学校選抜（推薦型）・総合選抜型入試などを活用して大学へ進むタイプです。クラブによっては専門的実技の指導のために外部から指導者を招いたり、栄養管理、テーピングなどのエキスパートによる指導も行っています。



学校生活の根拠地・ホームルーム

02

みんなで考え討議してより良い学校をつくる

ホームルーム活動は50年以上前から始まった、本校の伝統的取り組みです。毎週のホームルームで班長会を中心に各クラスの問題点解決の話し合いや学校行事の方針決めなどが討議されます。これは生徒一人ひとりの意見や考えを汲み上げるもので本校の「生徒の主体性」を重んじる校風の表れでもあります。またPTA、教職員、同窓会などで構成される「全学協議会」にも参加しカリキュラムや校則、施設について討議するほか、生徒や保護者が参加しての「授業参観」を通しより良い授業などについて話し合う機会もあります。さらに「公開まちづくりシンポジウム」などにも参加し幅広い視野、思考をもつための機会を提供しています。



Voice



私は中学まで人前で話すのが苦手で、それを克服したいと思い班長と学年委員に立候補しました。1、2年では学年委員会の副委員長も務め、活発に意見交換される班長会議や委員会で、次第に自分の意見をまとめ表現することができるようになっていきました。クラスや学校全体のいろいろなテーマに向き合うなかで成長しリーダーシップをもった行動ができるようになったことは大きな自信です。

総合学科国際クラス3年 斉藤理愛さん
(横浜市立世下中学校出身)

SDGsと旭丘高校の取り組み

03

本校独自の問題意識がSDGsにつながっています

誰一人取り残さない社会を目指して国連で採択された「SDGs—持続可能な開発目標」に対して、本校では独自の活動を展開。「質の高い教育」に関しては私学助成運動にいち早く取り組んできました。「環境」に関しては地域自治会の久野川・山王川一斉清掃活動に参加。「平和」に関しては長崎修学旅行・平和学習を継続しています。このほか「ジェンダー」に関しては女子制服へのスラックス導入などもあげられます。振り返るとまずSDGsありき、ではなく本校が伝統的に学校や社会の問題に目を向けてホームルーム等を通して、地域と共同して解決してきた取り組みが、SDGsとつながっている結果になっています。



久野川・山王川一斉清掃



全学の代表で私学助成の街頭署名

Voice



生徒会の総務の活動のなかで、私学助成署名運動を行い、女子生徒のスラックス着用を実現させました。SDGsは最初はむずかしいと思っていましたが、誰でも始められ、継続できることだと実感しています。制服で、生徒の意見が反映できたことも素晴らしい成果だと思っています。私は生徒会長も務めているのですが、たとえば今後は環境面で自分たちでできるとことを広められたら、と思っています。

総合学科科学進学クラス3年 森田奏音さん
(茅ヶ崎市立松林中学校出身)

ICT教育

04

情報機器を活用した教育の進化

旭丘高校では、今年3月に第1校地・第2校地の全教室へのWi-Fi環境の整備を完了させました。そして、これを土台に新1年生から個人所有による生徒1人1台端末(タブレット型パソコン)を活用して高度情報化社会に対応した学びの充実を図る取り組みを進めています。

1人1台端末を活用することで、教師と生徒の双方向型の授業を展開し、個別学習を充実させるとともに、生徒の協働学習を発展させていきます。さらに、大学・専門家との連携による学びや海外の姉妹校とのオンライン授業交流等に取り組んでいます。

〈コロナ禍のもとオンラインで修学旅行を実施〉

一昨年、コロナ禍により多くの高校が修学旅行を中止するなか、本校も長崎現地を訪れる修学旅行を断念しました。しかし、これまで35年間継続して来た平和学習の大切さを実感している保護者からも強い要望が出され、オンライン修学旅行を実施しました。1日目は被爆講話と長崎の「証言の会」の方案内での原爆資料館見学、そして2日目被爆者の方の案内での碑めぐりを学校ホールで生徒たちが視聴しました。ある生徒は「いまこの瞬間に被爆者の方が直接に語り掛けてくれているというのは、誰かが作った映像を観るのとは全く違い、自分がいまそこに参加しているという実感を与えてくれるものでした」と感想を述べています。この取り組みは、NHKやフジテレビでも放映されました。



国際連携教育

05

中国姉妹校との交流・提携

学園創立110周年を機に位置づけた「国際連携教育」。これまで中国の西安外国語大学附属西安外国語学校および安陽市開発区高級中学との間で生徒たちが相互訪問し、ホームステイや、日中高校生文化・スポーツ交流を行ってきました。また、“治水神”として崇められる中国古代夏王朝の禹王の碑を、西安の碑林と酒匂川上流の碑文で読み解く「日中高校生共同フィールドワーク授業」で交流しました。現在はコロナ・パンデミックで直接の交流は止まっていますが、地球温暖化問題にかかわる「カーボンニュートラル」をテーマとした「科学技術祭」に生徒代表が動画作品で参加し「栄誉賞」を受賞。安陽とは日中青少年書画展を通して交流するなど、海を越えた熱い交流が続いています。

〈日中高校生共同授業に参加した生徒の感想〉

訪中と来日の相互交流を通して中国の皆さんと触れ合い、国や言葉、文化の違いを越えて人として信頼し合えることをお互いに実感しました。そして一昨日、私たちは中国の生徒の皆さんと一緒に酒匂川・福澤神社の文命東堤碑を見学しました。私の出身中学校の名前が中国古代の禹王の名前だと知り、とても驚きました。そして、碑文の読み取りを通して日本には禹王の治水神としての業績が古くから伝わっていること、江戸時代の富士山噴火による大災害からの復興の時に禹王が人々の暮らしを守る神様として祀られたことを知りました。私は、何とも言えない気持ちになり、日本と中国の長くて深い歴史的関係をもっと学ばなければならない、学びたいと思いました。



第二校地の2つのグラウンド

06

第二校地全体図



自然と共生する 総合的スポーツ・文化施設

第2校地（久野・荻窪キャンパス）には、生徒たちの総合的な学習の場としてスポーツ・文化の施設・設備が整っています。スポーツ施設としては、バスケットボールコートが2面取れるアリーナ体育館やテニスコート、トレーニングルーム、ボルダリングウォール、相撲場、剣道場とともに公式のサッカーコートと陸上の100メートル直線トラックが具備された夜間照明付人工芝グラウンド（第1グラウンド）、そして現在第1期整備が完了した第2グラウンドです。さらに文化施設としては、木工加工室、電動ろくろと焼成窯を備えた陶芸室、農業実習地、共同炊事室などがあり、校地の中に広がるスギとヒノキの森林や校地の境を流れる川も生徒たちの貴重な学習の場となっています。



人工芝グラウンド

Voice



中学のときに学校見学で本校を訪れ、高校で人工芝のサッカーコートがあることに驚き、素晴らしい環境に憧れて入学を決めました。サッカー部の監督さんの熱意にも惹かれ、今はサッカーに打ち込む毎日です。私はゴールキーパーですが、人工芝だとセービングで飛んでも痛くないし、ラインもしっかり見えるのでポジショニングもとりやすいです。充実した環境で成長し、将来プロなる夢をかなえたいです。

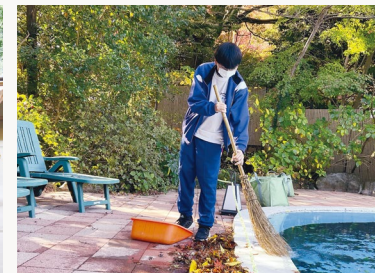
総合学科スポーツ進学クラス1年 山崎碧澄さん（茅ヶ崎市立北陽中学校出身）

課題研究（インターンシップ）

07

地域で働く体験を通して学ぶ

総合学科3年次には、地域での職業体験学習（インターンシップ）が年間を通じた授業として必修化されています。5月にオリエンテーションを行い、6月から12月まで毎週1日同じ職場で働く体験をして実習ノートをつけ、体験先の方のコメントをもらいます。3学期にはそれぞれの職場で体験してきた仕事を通して学んだことについて生徒同士で発表し合い、自分たちの体験を総括する「まとめ集」を作成します。それぞれの職種の仕事をしていくための専門性を身につける学びの必要性を自覚し、上級学校進学への意欲につながります。なお普通科にも「社会見学」があり、同様に職業観・労働観を培う場となっています。



Voice



人生の中で
大切なことに
気づくことができた
貴重な体験

私は身体・精神・知的の障がいを持った方が社会参加をするための自立支援をする作業所でインターンシップをしました。私は実習を通して、障がい者の方が様々な悩みや悔しさを感じていることを知りました。自分に自信がなく考えや意見をなかなか発信できない方の気持ちに寄り添い、自分という存在に価値が十分にあることを感じてもらうことの重要性を実感しました。そしてどのようなサポートが必要なのか、私ができることは何なのかなど、自分の考えを深めることができました。この実習は私にとって人生のなかで大切なことに気づくことができる貴重な経験になったと思います。

相模女子大学2年 宮崎あおいさん（2020年度卒業）

長崎修学旅行と平和学習

人類史的価値〈平和のうちに生存する権利〉を学ぶ

2年次には、長崎修学旅行での現地学習を節目とする平和学習の年間のカリキュラムが本校独自のユニークな総合学習として展開されます。事前学習は原爆を自然科学・社会科学の両面からとらえた理科と社会科の先生による特別授業、亡くなった被爆者の方の数（七万数千羽）を目標とした折り鶴づくりに取り組みます。さらに、長崎現地での平和学習は①被爆地で被爆体験を聞く、②原爆資料館で被爆の実相を読み取る、③被爆者の方々と共に碑めぐりを行い原爆の落ちたあの日を確かにイメージ化する、④爆心地公園で平和宣言を行う、⑤平和学習を総括する集いを持つ、の5段階で構成されています。そして、事後には文化祭で各クラスが平和をテーマとした企画に取り組むとともに、合唱構成詩づくり50字メッセージ集づくりに取り組みます。この現代における核の問題に目を向け、「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向に触れるなかで人類史の到達点としての「平和のうちに生存する権利」を学びます。



卒業生からのメッセージ

Voice



長崎からのオンライン中継では被爆者の方のお話をはじめ戦争の悲惨さを考える良い機会になりました。またクラスで取り組んだ戦争遺跡のプレゼンテーションで私たちは「山王神社」を取り上げ被爆の跡を残す一本柱鳥居、熱線で焼けながら緑を取り戻した楠木などを紹介する動画を制作し、一位という高い評価をいただきました。すさまじい被害にあった人々がいて現在の平和があることを忘れてはならないと思いました。

東海大学工学部電気電子工学科1年 米光佑騎さん（2020年度卒業）

旭丘高校のキャリア教育

教育の特徴

本校では、青年期の自立と学びの課題に応えるため、「成長」と「発達」を現実の生活や社会のなかでとらえ、「生活と教育を結合させる」視点で教育課程が編成され、普通科・総合学科の両課程ともに、様々な青年期教育のカリキュラムが配置されています。本校の教育課程は、「自主的民主的な活動と社会参加を通して豊かな学力と勤労を重んじる全面的に発達した人間の育成を図る」という教育目標を具体化したものです。その特徴は以下のような点にあります。

- 01 それぞれの個性と成長過程のなかで、様々な発達の願いと課題をもつ子ども・生徒たちの学びと発達を保障するための多様なカリキュラムが用意されています。
- 02 子ども・生徒の「学力」と「発達」の問題を、教室や学校の枠のなかだけでなく、子ども・生徒が生きる、現実としての生活や社会のなかでとらえようとする視点をもち、「生活と教育の結合」を図っています。
- 03 生徒たちを「学ぶ主体」としていくことを重視し、生徒たちの「なぜ、何のために、何を学ぶのか」という問いかけに応え、「平和」「人権」「環境」など、現代社会の重要なテーマを各教科の授業と総合学習のなかで積極的に取り上げ、生徒と教師が横並びで取り組む問題解決型の学習を大切にしています。
- 04 教室の中の教科学習と、ホームルーム活動を通じた交わりや行事、地域活動への参加など教科外の活動を結びつけ、生徒が現実のなかから学ぶ課題を見出し、学ぶ意欲や関心、目的をもつことから出発して、人間力の基礎となる豊かな学力を育てます。
- 05 全学協議会や全学教育研究集会などの場を通して、生徒・保護者の授業・学習への要求を受け止め、生徒・保護者の参加で授業・カリキュラムづくりを進めています。

COURSE INDEX

普通科	一般クラス / クリエイティブクラス	P15
総合学科	国際クラス / 大学進学クラス スポーツ進学クラス / 進路探求クラス	P17
普通科・総合学科共通	ベーシッククラス	P22

進路を拓くキャリア教育

3年間のキャリア教育でつかむ生き方と進路

3年間の高校生活を通して生徒が自立し、現代社会の課題と向き合って自らの進路・職業を選択していくために、各学年に参加・自治・学びの活動に関わるテーマが設定され、教育課程全体を通じたキャリア教育が展開されています。1年次のテーマは「交わりと自治」、2年次は「平和と人権」、3年次は「進路と生き方」です。

1
年次

人と交わる力を養い 社会的自立の基礎を築く

生徒会主導のもと、ホームルームを基礎として、体育祭・文化祭・社会見学・修学旅行・卒業を祝う会などの様々な行事に取り組みます。生徒自身が目標を立てて、クラス全員が活躍できるよう工夫。充実した高校生活を送るなかで、人と交わる力を養い、社会的自立の基礎を築いていきます。

2
年次

ナガサキ平和学習で 「平和のうちに生存する権利」を学ぶ

長崎修学旅行を節目に「核と平和」の問題に視野を広げ、被爆の実態や「核兵器のない世界」を目指す国際的な動向にも触れて、「平和のうちに生存する権利」を学びます。原爆を自然科学・社会科学両面からとらえた学習、亡くなった被爆者の数に相当する7万数千羽を目標とした折り鶴づくり（事前学習）、合唱構成詩づくり（まとめの事後学習）などを行います。

3
年次

3年間で学んだ3つの力で 「大きな進路」と「小さな進路」を決定する

3年間の、仲間との共同や地域・社会と向き合う学びで得た「手をつなぐ力」「平和を愛する力」「物事を科学する力」をベースに、2つの進路を決定します。人類社会や日本、地域の未来の見通しをつかむ「大きな進路」と、自らの具体的な進学先や就職先などの「小さな進路」です。大学の先生や企業の方を招いた進路ガイダンスや三者面談、履歴書の書き方や面接の受け方など、丁寧な進路指導が行われます。

自らの進路を拓く力の形成へ

旭丘高校の学科・クラスの構成

一人ひとりの個性と進路の求めにこたえる多様・多彩なカリキュラム



CURRICULUM

■ 普通科の標準的カリキュラムモデル

大学での学びの土台となる広い基礎教養を身につけたい人の学習モデル（一般クラス）

1年	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	音楽Ⅰ	総合A	総合B	ロングホームルーム	
2年	現代文	歴史総合	数学Ⅱ	物理基礎	生物基礎	体育	保健	家庭基礎	英語コミュニケーションⅡ	進学・進路選択講座Ⅰ	総合A	総合B	ロングホームルーム	
3年	論理国語	日本史探究	公共	科学と人間生活	体育	英語表現Ⅰ	美術概論	進学・進路選択講座Ⅱ	進学・進路選択講座Ⅲ	進学・進路選択講座Ⅳ	進学・進路選択講座Ⅴ	総合A	総合B	ロングホームルーム

必修・共通履修科目群

選択科目群

総合学習の科目群

クリエイティブクラスには1年次・2年次に「言語」と「数量」が2単位ずつ配置されています。

■ 総合学科の標準的カリキュラムモデル

学校選抜型（推薦）入試で情報系の大学や専門学校への進学を目指す人の学習モデル（進路探求クラス）

1年	産業社会と人間	現代の国語	言語文化	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	英語コミュニケーションⅠ	情報Ⅰ	簿記	総合技術Ⅰ	ビジネス情報処理Ⅰ	総合B	ロングホームルーム		
2年	歴史総合	地理総合	科学と人間生活	体育	保健	家庭総合	総合技術Ⅱ	プログラミング入門	マルチメディア活用Ⅰ	情報の活用Ⅰ	ビジネス情報処理Ⅱ	資格の簿記Ⅰ	流通経済入門	探究英語	総合B	ロングホームルーム
3年	公共	体育	家庭総合	芸術選択	プレゼンテーション	マルチメディア活用Ⅱ	情報の活用Ⅱ	資格の簿記Ⅱ	マーケティング入門	経営分析Ⅱ	課題研究 (コンピュータ事務作業を体験)		総合B	ロングホームルーム		

必修・共通履修科目群

進路とキャリアにかかわる科目群

選択科目群

総合学習の科目群

学業進学クラスでは、国語と英語の科目が増単位され、選択科目で進学対応講座を履修できます。また、3年次の「課題研究」は進学特別講座を選択することもできます。

スポーツ進学クラスには、この他に「基礎体力」「武道」「スポーツ実習」が必修化されています。

国際クラスでは、日本語を母語としない生徒（外国籍の生徒など）の日本語学習が位置づけられているとともに、日本人の生徒には英語とともに中国語・韓国語・イタリア語・モンゴル語や国際理解などの講座が選択できます。

■ ベーシッククラスの標準的カリキュラムモデル（総合学科）

1年	産業社会と人間	現代の国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	体育	保健	情報Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	基礎の数学	ことばと交わりⅠ	からだⅠ	総合B	ロングホームルーム
2年	歴史総合	日本史探究	化学基礎	体育	保健	家庭基礎	総合技術	総合選択科目		ことばと交わりⅡ	からだⅡ	総合B	ロングホームルーム	
3年	公共	科学と人間生活	体育	芸術選択	総合選択科目		総合選択科目 課題研究 (インターンシップ)		ことばと交わりⅢ	からだⅢ	総合B	ロングホームルーム		

必修・共通履修科目群

学校設定科目群

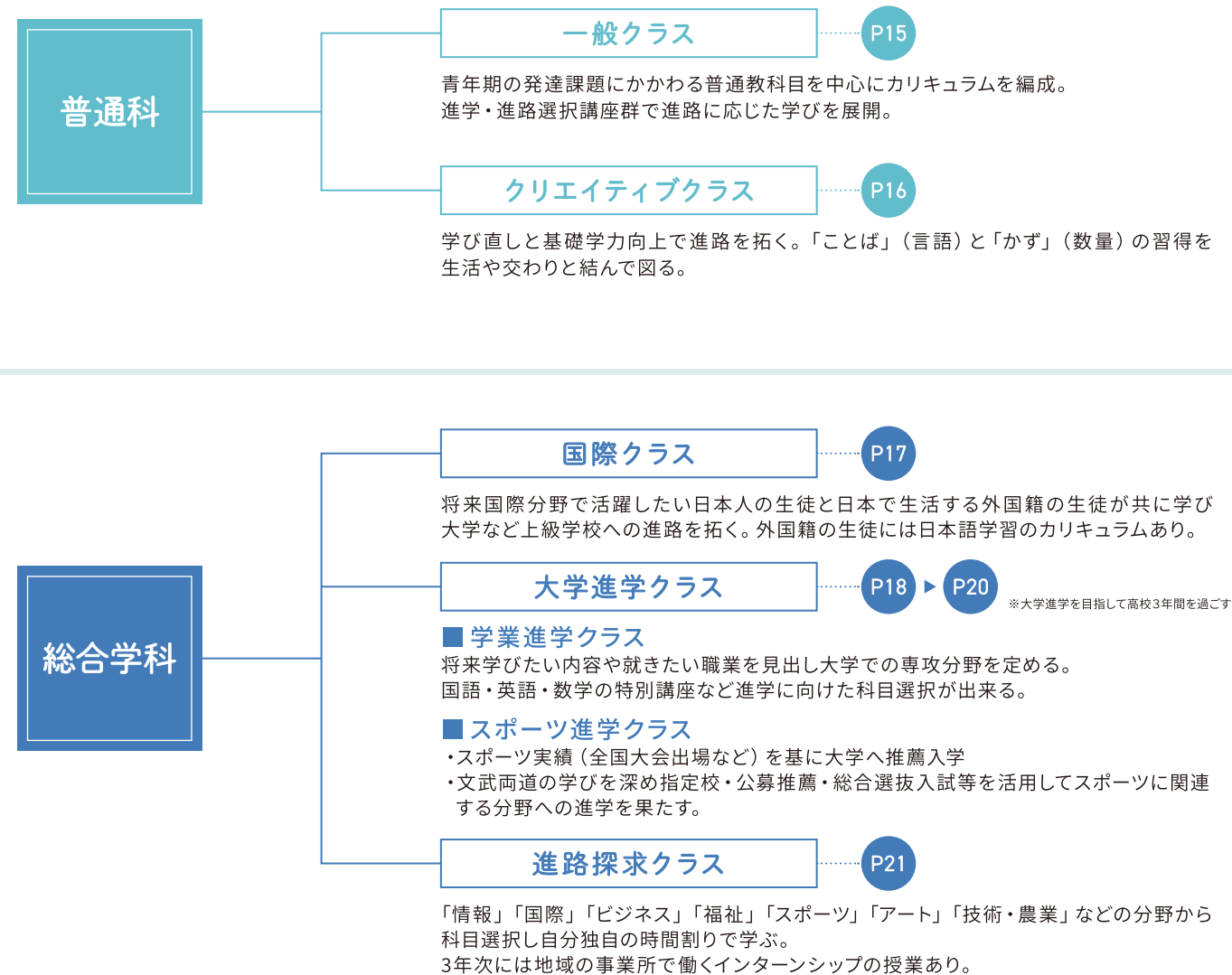
進路とキャリアにかかわる科目群

選択科目群

総合学習の科目群

普通科ベーシッククラスの生徒は、選択枠で普通科科目を履修できます。

総合学科ベーシッククラス総合選択科目には、進路探求クラスと同様に多彩な選択科目が配置されています。



不登校生徒の再チャレンジをサポート。「学び直し」・「交わりと自立」・「進路を拓く力」を重視する全日制課程のカリキュラムを編成。



一般クラス

自分の関心分野を伸ばし
将来の進路へつなげます

知識と学力を身につけ伸ばす、一般教科、普通科目群を中心にカリキュラムが組まれています。2、3年次に普通科目を中心とした多彩な進学・進路講座を設けています。そのため自分自身の関心や進路目標に合わせて学ぶことができ、得意分野の強化と苦手科目の克服が図れます。

また学校生活においてはクラスや学年の課題、各種行事の取り組みについて話し合う「ホームルーム」活動を中心に、物ごとに主体的に関わる姿勢を身につけ、仲間と共同する素晴らしさを体験します。このほか平和、人権、環境などの問題について学ぶカリキュラムにも特徴があります。



Pick Up!

自分が大きく成長していることを実感しています

中学まで何ごとにも消極的な「自分を変えること」をテーマに旭丘高校に入学しました。1年からクラスの班長としてホームルーム活動などに参加するなかで考え方や行動がどんどん積極的になりました。コミュニケーションが苦手でしたが今では卒業後は人と接するサービス業に就きたいと思うようになりました。

普通科一般クラス3年 相良利織さん（小田原市立城北中学校出身）

この授業が好き

「現代社会」は、社会の仕組みをはじめ経済や国際関係の時事問題さらには法律など、今まで知らなかったことを知り、考える時間となり、とても役に立っています。

クリエイティブクラス

学び直しから学力を発展させ
豊かな人間性も育みます

小中学校のときに、何らかの理由で学習に対する困難や苦手意識を抱えてきた人や、高校生活で学び直しをして進路を拓きたいという意欲を持っている人を迎え入れているクラスです。主に1年次は小・中学校の学び直しから基礎学力を回復し、2年次以降は基礎を応用・発展させていきます。段階的なカリキュラムで無理なく学び、進学を希望、実現する生徒も多くいます。またさまざまなバックボーン、個性をもったクラスメイトと日々ふれあいながら、学校行事や地域活動などへの参加を通して、他者と関わり、交わることで豊かな人間性を育みます。



Voice

自分に自信がつき進路目標も見つかりました

学び直しができる点でこのクラスを選びました。以前の私は「脇役」でしたが、高校では学年委員会で学校行事の運営に関わり、部活動で友人たちと好きなことに打ち込み、自分に自信をもてるようになりました。学習面でも先生のきめ細かい指導を受け、親身な進路指導で将来の目標を見つけることもできました。

普通科クリエイティブクラス3年 脇小百合さん（大磯町立国府中学校出身）

Pick Up!

この授業が好き

「AO入試」での合格を目指している今、1年次の「言語I」で学んだ言葉遣い、挨拶の仕方をはじめ模擬面接、エントリーシートの書き方などが役立っています。

Voice



国際クラス



世界を舞台に活躍することを目指したカリキュラムです

将来、国際社会で活躍したいと考える生徒、日本で生活する外国籍の生徒がともに学ぶクラスです。日本人と外国籍の生徒が共通して受ける授業と選択制の授業があります。日本人の生徒は特に大学進学に必要な外国語の習得、外国籍の生徒は日本語能力検定N2以上の習得を目標としています。また英語やスペイン語を母国語とする生徒はその言語力を活用して大学入試に挑戦するケースもあります。

日常生活においては、国を超えて言語を超えて友情が育まれ、お互いの国の事情や文化などを理解し合う、文字通りの国際交流、国際教育が実現しています。



Pick Up!

国籍を超えた友人たちと刺激し合って学んでいます

中学のときから国際分野に関心があり、この国際クラスは私にぴったりだと思いました。1年次から韓国語を選択し韓国語能力試験2級に合格しました。また国際系のカリキュラムを幅広く学び、将来は海外で仕事をしたいと思うようになりました。留学制度のある大学に入り、4年間で具体的な進路を見つけたいと考えています。

総合学科国際クラス3年 飛岡由美アリネさん（平塚市立横内中学校出身）

この授業が好き

「韓国語」はネイティブの先生がハングルのイロハから段階的に学べるよう指導してくれます。大好きなK-POPの歌詞の意味もわかるようになり嬉しいです。

大学進学・学業進学（ジェネラル）クラス



大学進学を重視しきめ細かく充実した指導を展開

大学、短大への進学を目標にしたクラスです。英数国など進学の基礎となる科目を重点的に学ぶカリキュラム構成で、2、3年次の選択科目で受験対策やそれぞれの進路に合った科目を選択。グレード別の「進学特別講座」や学習室では朝学習、放課後学習も行われ、学びの環境が充実しています。また全員がキャリアガイダンスによつて的確なアドバイスを受けながら、志望大学を絞り込んでいくほか、ホームルーム担任も進路指導部と連携して生徒に寄り添う指導を実施。三者面談も全員が行い一般選抜、学校選抜（推薦型）、総合選抜型などを検討していきます。



Voice

希望の大学に入り将来の夢を実現したいです

小中学生の頃から理系の勉強が好きで、旭丘高校にも大学進学という明確な目標をもって入学しました。医療分野に関心があり、将来は「臨床工学技士」になりたいと思っています。受験の準備では、学校で大学の情報も入手しやすく、先生方が親身に相談にのってくれるので助かります。ぜひとも希望の進学を実現したいです。

総合学科学業進学クラス3年 度会麻利さん（秦野市立北中学校出身）

Pick Up!

この授業が好き

「進学特別講座」は英語と数学を1年次から受けています。習熟度別クラスなのでとても役立ちます。このほか放課後の自習室、夏休み講座など受験対策が充実しています。

大学進学・スポーツ進学 クラス



体育・スポーツ・健康分野に特徴的な科目を設けています

総合学科のカリキュラムの特徴を活かし、選択科目を多く設けています。そのため大学進学のための基礎となる普通科目と体育・スポーツ・健康分野の科目群をバランス良く学ぶことができます。体育・スポーツ・健康分野の科目は「科学的なトレーニング実践」「基礎理論（身体工学）」「専門的実技（実践）」「スポーツと進路に係わる学習」などの専門性の高い授業を行っています。また午後の実技の授業と部活動を一体化し、スポーツの技量を追究していく体制も整えています。スポーツ関連の学びは充実していますが、「アスリート」を目指して進学する生徒ばかりではなく、医療、健康系をはじめ教育や福祉、経営、観光、情報など進路はさまざまです。一人ひとりの希望の進路実現を目指し、ほかのクラス同様にきめ細かくサポートしています。



3つの中心科目

スポーツ進学クラスならではの科目を取り入れています

■基礎体力

各種機器を使用した科学的なトレーニングによって自分の身体の仕組みを知ること、スポーツが人間の身体に健康に果たす役割を自覚するとともに、それぞれが取り組んでいるスポーツの種目に合わせた身体づくりにも役立てています。

■武道

修養や鍛錬という目的も持つ日本独自の武道を授業に取り入れています。目的の一つは日本の伝統文化への理解と関心を深めることです。また技の習得だけでなくスポーツマンとして、または人間として自己形成の土台をつくる目的もあります。

■スポーツ実習 ※毎週水・金曜日午後

学校外の体育施設を利用したり、大学を訪問して教授や学生からの指導を受けたり、専門分野を深めていく実習を行います。授業終了後はそのまま部活動に移行することもでき、野球、バスケットボール、陸上、相撲部などその範囲が拡充しています。

身体を科学する最新機器を「基礎体力」の授業に

peek a body

「peek a body」は、姿勢分析システムで、peek＝見透かすという言葉通り、前後、左右の4方向の写真を撮るだけで、短時間で高精度に身体を透かし見ることができます。これによってミリ単位で姿勢の歪みや傾き、筋肉の硬さ、身体へのリスクなどを把握できます。改善点があった場合は修正していくことで、体調不良のリスクを減らすことはもちろん、スポーツにおけるトレーニング効果やパフォーマンスの向上につなげることもできます。公共のスポーツ機関や大学で採用されているシステムを本校ではいち早く取り入れて活用しています。



Voice



今年こそ、県ベスト16の壁を突破したい

去年、野球部は初めて予選大会一位という快挙を達成しました。今年の夏は県でベスト16の壁を突破したいと思っています。スポーツ進学クラスは文武両道でみな仲が良く、互いの頑張りを刺激に切磋琢磨しています。私も部活を通して何事も最後までやり抜く姿勢が身についたと実感しています。将来は動画編集などに携わりたと思っています。大学で何を学ぶべきか先生に相談して進路を検討しています。

総合学科スポーツ進学クラス3年 河野陵さん(相模原市立緑が丘中学校出身)

Pick Up!

この授業が好き

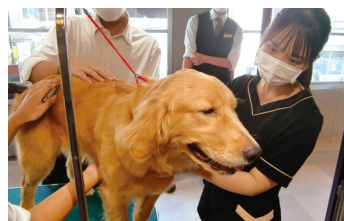
「基礎体力」の授業は、身体についての知識を深めることができます。たとえば身体の痛み、トラブルが発生する原因なども知ることができ、部活動に役立ちます。

進路探求 クラス



「自分だけの時間割」で学び 希望進路実現を目指します

1年次に基礎的な知識と技能を習得し、2、3年次に多彩な総合選択科目、自由選択科目から、自分の関心や希望進路に応じて科目を選択できます。情報、ビジネス、国際、福祉、アート、スポーツなど分野別の学習が可能で「自分に合った学び」ができる点が特徴です。キャリアガイダンスでは1年次に「交わりと自治」、2年次に「平和と人権」、3年次に「進路と生き方」を実施。特に3年次は大学、短大、専門学校、就職についてそれぞれの分野の講師を招いて話を聞くガイダンスも行っています。また担任との三者面談で一人ひとりの進路についてきめ細かい指導、サポートを徹底しています。



Pick Up!

学年委員や部活動が進路につながりました

3年間通して学年委員として活動しています。元々人前に出るタイプではなかったけれど、委員会で発言したり意見をまとめたりするなかで「前に出て発言する楽しさ」を感じられるようになりました。それはまた演劇部での活動でも同じことが言えます。組織づくりに関心をもつようになり大学では社会学系の学部で学びたいと考えています。

総合学科進路探求クラス3年 根本珠里さん（横浜市立南戸塚中学校出身）

この授業が好き

指定校推薦を希望しているので小論文対策が大切ですが、進学講座で丁寧に書き方を教わりました。また担任が国語の先生なので授業時間に限らず指導を受けられます。

ベーシック クラス



不登校生徒の成長を見守り サポートします

中学で不登校の経験をもつ生徒の学び直しと、コミュニケーション力を身につける授業を行っています。全日制課程での不登校生徒の受入れは県下唯一です。「ことばと交わり」「からだ」「基礎の数学」といった独自の科目を設けているほか、自主性を重んじるホームルーム活動で成長を後押しします。30人以下の少人数編成のため生活、学習両面で一人ひとりに目の行き届いた指導を実現。2、3年次に本校のほかの学科、クラスへの移行も可能です。学校行事や課外活動はほかのクラスと同様の取り組みになり、キャリア教育などを通して高校で新たな目標を見つける機会を多く設けています。



Voice



大学で生物学や生命科学を追究したいです

入学当初は少しごちなかったクラスも少しずつ打ち解けて、お互いを尊重しながら良い友人関係が築けています。私は1、2年と学年委員を務め、皆と協力しながら色々な活動に携わったことが良い経験になりました。また演劇部の活動を通して「命」に興味をもち、大学へ進学し生物学や生命科学を学びたいと思っています。

ベーシッククラス3年 飯田麻季さん（平塚市立中原中学校出身）

Pick Up!

この授業が好き

木を切ってペーパーナイフをつくったり、沢登りをしたりする「からだ」という授業。自然にふれる、身体のことを知る、初めての体験を通して多くのことを学べます。

Voice



学年委員や部活動が進路につながりました

3年間通して学年委員として活動しています。元々人前に出るタイプではなかったけれど、委員会で発言したり意見をまとめたりするなかで「前に出て発言する楽しさ」を感じられるようになりました。それはまた演劇部での活動でも同じことが言えます。組織づくりに関心をもつようになり大学では社会学系の学部で学びたいと考えています。

総合学科進路探求クラス3年 根本珠里さん（横浜市立南戸塚中学校出身）

この授業が好き

指定校推薦を希望しているので小論文対策が大切ですが、進学講座で丁寧に書き方を教わりました。また担任が国語の先生なので授業時間に限らず指導を受けられます。



SCHOOL EVENTS

年間行事

仲間とともに学校生活

4 APRIL	5 MAY	6 JUNE	7 JULY	8 AUGUST	9 SEPTEMBER
- 入学式 (新入生オリエンテーション) - 身体測定 - 内科検診 - 歯科検診	- クローバー祭 (体育祭) (進学者オリエンテーション) - 進路適性検査 - PTA総会	- 中間試験 (就職オリエンテーション等) - ホームルーム懇談会 - 進路講演会 - 進学模試	- 期末試験 - 全学協議会 - 地域教育懇談会 - 視聴覚教室 - 避難訓練 - クラブ合宿	- 全学教育 研究集会 (第1部) - 平和集会 - クラブ合宿 - 夏季進学講座	- 就職活動 - 修学旅行 (2年) - 社会見学 (1・3年)
10 OCTOBER	11 NOVEMBER	12 DECEMBER	1 JANUARY	2 FEBRUARY	3 MARCH
- 中間試験 - PTS懇談会 (三者教育懇談会) - 進学模試	- クローバー祭 (文化祭) - 全学教育 研究集会 (第2部)	- 期末試験 - 全学協議会 - スキー教室 - 視聴覚教室 - 生徒総会	- かるた会 - 全学教育 研究集会 (第3部)	- 卒業試験 - 卒業を祝う会 - PTA総会 - 進路適性検査 - 進学模試	- 卒業式 - 学年末試験 - 生徒総会

Voice



体育祭 クラス一致団結して3位入賞！最高でした

3年になって高校生活で初めて全学年一緒に開催することができました。クラスごとに制作する横断幕づくりをはじめ準備や練習にも力が入りました。学年別の分散型で開催された昨年は少し残念な結果だったので「今年こそ」という思いで、皆で準備をし、見事3位入賞を果たしました。最後の「15人16脚」は、当日に走りを含めて良い結果を出せたので、クラス皆が盛り上がりました。最初で最後の体育祭でしたが素晴らしい思い出になりました。

普通科クリエイティブクラス3年 田中春輝さん（伊勢原市立山王中学校出身）



Voice



文化祭

自分に自信が芽生え成長できました

学級演劇の企画・立案の責任者を任せられました。それ以前の私は自分に自信がもてませんでしたが、文化祭の取り組みでクラスメイトの意見を聞き、助け合うなかで成長することができました。当日は多くの生徒が観賞してくれて拍手をもらったときは最高に嬉しかったです。文化祭後、クラスの絆も強くなったと感じています。

ベシッククラス3年 秋山三冬さん（茅ヶ崎市立萩園中学校出身）



最高のクラスメイトに感謝です

秋山さんとともに企画・立案を担当しました。準備を通して、公演を成功させるためにクラスの心が一つになっていく一体感を覚えました。役者、音響、照明、大道具、メイクなどそれぞれが役割を果たして頑張りました。全力を出したから「生徒会長賞」をもらったことも全員の自信になったと思います。最高のクラスメイトに感謝です。

ベシッククラス3年 青木柚里香さん（小田原市立城南中学校出身）





CLUB ACTIVITIES クラブ活動

仲間と鍛える心技体 目標へのチャレンジ



運動部

- | | | | |
|-----------|--------|---------|------------|
| 相撲部 | ボウリング部 | 水泳部 | バドミントン部 |
| 陸上部 | 弓道部 | ソフトテニス部 | バレーボール部 |
| サッカー部 | 剣道部 | 卓球部 | AFC(釣り)同好会 |
| バスケットボール部 | 硬式テニス部 | ダンス部 | 自転車部 |
| 野球部 | | | |

文化部

- | | | | |
|-------|-------------|-------|-----|
| 吹奏楽部 | 合唱部 | 児童文化部 | 美術部 |
| 演劇部 | ティーコーディネート部 | 生物部 | 文芸部 |
| 書道部 | 軽音楽部 | 陶芸部 | 簿記部 |
| イラスト部 | 交通研究部 | 農芸部 | |

Voice



運動部 インターハイで自己ベスト更新が目標です

中学ではバスケット部でしたが高校では新しい挑戦がしたいと思い、陸上部で走り高跳びをはじめました。先生の指導もあり去年は関東大会8位でしたが今年は一番の目標もあったインターハイ出場を決めました。ぜひベストの2.05mを更新したい。部活を通して向上心をもって取り組む姿勢が身につきました。スポーツ推薦で進学も決まっており、将来は日本記録を出せるような選手になりたいです。

総合学科スポーツ進学クラス3年 山中健太さん(厚木市立南毛利中学校出身)



Voice



文化部 大好きな音楽を通して夢も実現したい

吹奏楽部では旭丘高校の120周年に合わせて作曲家の先生に曲をつくっていただき、今、大会に向けて猛練習中です。私は中学から吹奏楽を続けていますが、合奏で皆ときれいに音を合わせられた瞬間が、何度経験しても最高に楽しいです。皆と切磋琢磨して楽しみながら、担当楽器であるファゴットの演奏技術を磨きたい。音大に進み音楽の先生になるのが夢で、できればソロコンテストにも出場してみたいです。

総合学科進路探求クラス1年 椎木のあさん(藤沢市立六会中学校出身)



駅から徒歩5分 史跡と共生「小田原のまちが教室」の校地



正門



コンピュータールーム



ホール



図書室



TOPIC 第1・第2校地に学習室整備

生徒たちが朝と放課後、土日に大学進学に向けた自主学習をするための学習室が整備されます。情報機器（タブレットやPC等）を具備し、講義、個別学習、教え合い学習等に対応するスペースを配置しています。



個別学習



グループ学習

キャンパスの特色

- 小田原駅から徒歩5分
- 史跡の緑に囲まれた校舎と校庭
- 小田原城内にある冷暖房完備の近代的校舎
- 高校への進学ガイダンスが充実した入試センター・相談室を常時開設
- バリアフリー施設完成
- 地域の防災センターとなる耐震性に優れた建物
- 新名学園私学教育研究所、400人収容の多目的ホールなど、地域の教育・文化センターの機能アップ
- 安心・安全の施設
- 第1、第2校地ともパソコン100台ずつ配備
- 主に普通科の「学び」の根拠地
- ICT機器を備えた学習室を設置

第1校地の主な施設・設備

第1校舎 2001年9月完成（エレベーター付4階建て）

- 〈1階〉 ホール・ロビー（総合学習・身体表現・地域交流・食事・憩いの場）
- 〈2～4階〉 普通教室・ゼミナール室、新名（百周年）記念会館（会議室、同窓会室、地域防災庫）

第2校舎 2001年8月耐震改修完了（4階切り取り耐震補強）

- 〈地階〉 生徒会室・PTA・父母懇談会・六者懇談会室
- 〈1階〉 事務室・来賓応接室・入試センター・法人事務室・カウンセリング室・新名学園私学教育研究所
- 〈2階〉 職員室・保護者面談室・放送室・印刷室
- 〈3階〉 普通教室
- 〈屋上〉

第3校舎 2001年3月耐震強化・改修完了

- 〈1階〉 図書室・調理室
- 〈2階〉 コンピュータ室（Ⅰ）（Ⅱ）・芸術教室（書道・美術）
- 〈3階〉 理科実験室（Ⅰ）（Ⅱ）
- 〈4階〉 音楽室・被服室・ホール

第4校舎 1999年8月完成

- 〈1～3階〉 普通教室
- ※全棟耐震構造化・空調完備
- ※バリアフリー施設 2008年4月完成

体育館 改修2006年度完了

2階建て、器具庫、シャワー室付



緑豊かな自然と共生 地域と触れ合う教育システム

充実した運動施設



夜間照明付き総合グラウンド



トレーニングルーム



アリーナ



相撲場



剣道場



多種多様な教育設備



調理室



陶芸室



セミナールーム



ボルダリングウォール



校地を流れる川

キャンパスの特色

- 小田原駅からスクールバスで15分
- キャンパス総面積9万3946㎡、うち運動場面積2万3501.07㎡(他農業実習地3471.07㎡)
- 緑豊かな立地条件を生かした教育機能整備
- 人工芝総合グラウンドなど地域との関係を意識した学校づくり
- 新しい教育システムに対応したカリキュラムづくり
- 主に総合学科の「学び」の根拠地
- 創立120周年に向けて第2グラウンドなど整備予定

第2校地の主な施設・設備

中央センター

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造(エレベーター付)、地上4階・地下1階、床面積8470.20㎡

1号棟 2005年4月竣工

〈教室〉 大セミナー室・中セミナー室・小セミナー室(準備室)

〈特別教室〉 調理室・試食室・情報室・資料教材室・図書室・視聴覚室・実習室

〈管理施設〉 校長室・職員室・面接室・応接室・事務室・用務室・倉庫

2号棟 2007年8月竣工

〈教室〉 セミナー室(準備室)、学習室(キャリアカウンセリング室)

〈特別教室〉 共同厨房・収蔵庫・生徒食堂・調理実習室・食農教育準備室・総合技術科(情報室・製図・デザイン室)・自然科学系実習室・教材室・カウンセリング室

〈管理施設〉 会議室・倉庫

体育館

鉄筋コンクリート造及び鉄骨造、地上3階、床面積1958.76㎡

アリーナ 2007年11月竣工

バスケットコート2面、バレーコート2面、バドミントンコート6面、卓球室、多目的室(ダンス等)、視聴覚室、体育科準備室

※アリーナには床暖房設備整備

総合学習室

1号棟 2002年3月改修整備

工作・木工など手しごと・ものづくりの実習室

2号棟 2002年3月改修整備

トレーニングルーム

3～4号棟 2002年3月改修整備

武道場(相撲・剣道)

5号棟 2003年4月竣工

陶芸実習施設(電動ろくろ)、窯室・教材準備棟/2003年8月竣工

農業実習地

- 食農教育・総合学習実習施設(農具庫と畑)
- 無農薬野菜栽培実習施設

最近の進路状況

大 学

中央大学	帝京科学大学	洗足学園音楽大学	国際武道大学
日本体育大学	文教大学	高千穂大学	埼玉学園大学
上智大学	神奈川工科大学	宝塚大学	埼玉工業大学
東京藝術大学	国土館大学	多摩大学	サイバー大学
國學院大學	立正大学	鶴見大学	三育学院大学
東京理科大学	尚美学園大学	田園調布大学	湘南医療大学
横浜薬科大学	酪農学園大学	東京工科大学	静岡産業大学
玉川大学	フェリス学院大学	東京工芸大学	星槎大学
神奈川大学	桜美林大学	東京女子体育大学	大正大学
法政大学	関東学院大学	東京聖栄大学	デジタルハリウッド大学
日本大学	恵泉女子学園大学	東京富士大学	桐蔭横浜大学
麻布大学	相模女子大学	東洋学園大学	東京農業大学
東海大学	産業能率大学	日本文化大学	文京学院大学
大東文化大学	松蔭大学	ヤマザキ動物看護大学	北京語言大学東京校
亜細亜大学	城西国際大学	横浜商科大学	武蔵野学院大学
帝京大学	湘南工科大学	横浜美術大学	流通科学大学
帝京平成大学	女子美術大学	和光大学	

短 期 大 学

海上保安大学校	山野美容芸術短期大学	横浜女子短期大学	鶴見短期大学
湘北短期大学	和泉短期大学	産業技術短期大学校	
フェリシアンこども短期大学	小田原短期大学	共立女子短期大学	
日本大学短期大学部	鎌倉女子大学短期大学	高山自動車短期大学	

専 修 学 校

小澤高等看護学院	国際理容美容専門学校	日本工学院専門学校	横浜医療秘書歯科助手専門学校
湘南平塚看護専門学校	湘央生命科学技術専門学校	日本電子専門学校	横浜fカレッジ専門学校
横浜実践看護専門学校	湘南ウエディング専門学校	白寿医療学院	横浜高等教育専門学校
大原医療秘書公務員専門学校町田校	湘南歯科衛生士専門学校	服部栄養専門学校	横浜こども専門学校
アーツカレッジヨコハマ	尚美ミュージックカレッジ専門学校	聖ヶ丘教育福祉専門学校	横浜歯科医療専門学校
アルファ医療福祉専門学校	情報科学専門学校	専門学校ビジョナリーアーツ	横浜商業高等学校別科
医療ビジネス観光情報専門学校	新宿調理師専門学校	富士メカニック専門学校	横浜調理師専門学校
神奈川社会福祉専門学校	東京栄養食糧専門学校	ホスピタリティソーリズム専門学校	横浜テクノオート専門学校
鎌倉早見美容芸術専門学校	東京誠心調理師専門学校	町田調理師専門学校	横浜デザイン学院
鯉淵学園農業栄養専門学校	東京調理製菓専門学校	町田・デザイン専門学校	横浜デジタルアーツ専門学校
国際動物専門学校	東京デザイナー学院	町田美容専門学校	横浜リゾート&スポーツ専門学校
国際フード製菓専門学校	トヨタ東京自動車大学校	町田福祉保育専門学校	横浜理容美容専門学校
国際ペットビジネス専門学校	日本ガーデンデザイン専門学校	山野美容専門学校	読売理工医療福祉専門学校

主な就職先

日本郵便株式会社南関東支社（窓口）	東京ラチエーター製造株式会社	東洋水産株式会社相模工場	鴻池運輸株式会社
共同印刷株式会社社会	日研トータルソーシング株式会社	株式会社東京BK海老名センター	日産工機株式会社
市光工業株式会社	日産車体マニファクチャリング株式会社	株式会社三和	株式会社鈴木水産
株式会社JR関東口ジスティクス	ヤマト運輸株式会社横浜主管支店	名鉄運輸株式会社厚木支店	株式会社サカイ引越センター
株式会社小田原衛生美化サービス	井上運送株式会社	有限会社KKI製造部厚木工場	有限会社友栄
日本梱包運輸株式会社	株式会社キューソーエルプラン	日本ベストミート株式会社	株式会社はれコーポレーション
紀伊産業株式会社	株式会社柴橋商会	株式会社ビック・ライズ	木村屋総本店
佐川印刷株式会社社厚木工場	株式会社下田商店	インターナショナルトイレスリース	株式会社恵
株式会社吉池旅館	株式会社湘南ユニテック	株式会社梅田モータース	社会福祉法人敬和会
株式会社河鹿荘	小松会病院	社会福祉法人湖成会熱海伊豆海の郷	エースライズ株式会社
株式会社天成園	社会福祉法人東洋会	日本クロージャー株式会社平塚工場	株式会社甲羅
株式会社ホテルおかだ	株式会社クリエイトL&S	日本トーカンパッケージ厚木工場	諸星産業株式会社
株式会社アスベストミヤケ	株式会社ちばり湯河原	日本プレス工業株式会社	多田プレス工業株式会社
株式会社ミヤザワ	日本物流センター株式会社	泰平商事株式会社	株式会社湘南クッキー
株式会社米山電子工業	株式会社葦洋菓子製造部	株式会社ロピア	

旭丘高校は「無償教育」の考え方が基本です

私立高校への手厚い「学費支援制度」で学費の不安や悩みは解決！

後期中等教育（高等学校段階）での学費無償化導入は、国際人権規約第13条にも定められています。旭丘高校は、子どもを「社会の宝」とし、国民みんなでお金（税金）と力を出し合って未来の主権者を育てていく「無償教育」の考え方を学校運営の理念としています。「無償教育」の考え方のもと、学園・保護者・同窓生・地域で協力して国や県の就学支援制度・学費補助制度を充実させるための取り組みをしてきました。

Q 公立高校の授業料は年収約910万円未満の世帯は実質無償化になっていますが、私立高校の学費負担は軽減されないのでしょうか？

A 国の費用により、私立高校等の生徒の授業料に充てる「就学支援金」が、年収910万円未満の世帯には一律に年額118,800円（公立の授業料分相当の月額9,900円）が支給され、また、保護者の所得によってさらに加算額（年収590万円未満の世帯は年額277,200円を加算）が支給されます。また、その他にも様々な支援制度があります。（下記参照）

Q 私立高校生への県からの「学費補助金」について、教えてください。

A ① 前年の所得金額が、一定額以下の保護者に対して、県が学校に補助します。
② 対象者は、神奈川県内の私立高校に在学し、かつ生徒と保護者が共に県内に在住していることが条件になっています。
③ 「就学支援金」と併用して利用できますので、この「学費補助」とあわせ、所得区分に応じて、年額最大444,000円から193,200円の幅で支援されます（学校の授業料額が上限です）。

Q 授業料負担がかなり軽減されることはわかりましたが、「入学金」や「施設拡充費」の支援策はないのですか？

A 授業料だけでなく、入学金についても「神奈川県学費補助金」として100,000円が支援されます。生活保護世帯および県民税・市町村民税の所得割が0円（非課税）世帯は210,000円が支給されます。また、「社会福祉協議会教育支援金」や「母子父子寡婦福祉資金」の制度では、入学準備のための公的支援（貸付）も受けられます。

その他にこんな制度があります

1 「神奈川県高等学校奨学金」制度 （貸与制）一月4万円	2 「神奈川県私立学校生徒緊急支援補助金」制度 （給付制）	3 母子父子寡婦福祉資金 （貸与制）
4 社会福祉協議会・生活福祉資金	5 国の教育ローン	6 その他の奨学金制度 ー あしなが育英奨学金など

※旭丘高校独自の「新名奨学金制度」もあります。年間14万4000円を貸与。卒業後2年以内に戻還する制度です。

学費の問題で私学への志願を迷っている方へ

ここに紹介した国の就学支援金制度と県の私立高等学校生徒学費補助制度を活用することで、年収700万円未満程度の世帯に対しては、本校授業料が実質無償に、年収700～750万円程度の世帯では月額16,900円、年収750～910万円程度の世帯では月額23,100円に軽減されます。また、県内に在住の場合には、生活保護世帯および県民税・市町村民税が0円（非課税）世帯に対して入学補助208,000円が、年収約590～約750万円未満の世帯に対して入学補助100,000円が受けられます。旭丘高校では、入学金や施設拡充費等、入学時納入金の準備が困難な方に、様々な学費支援制度を紹介し、このような制度の活用によって納入の見通しが立った場合には、入学時納入金の延納措置についても相談に応じています。詳しくは、体験入学セミナーや学校説明会の機会にご相談いただくか、入試センターへお問い合わせください。



VISION

創立120周年を迎えて

新名学園旭丘高等学校は、1902(明治35)年、城下町小田原の地に創立者新名百刀先生によって創立され、今年で創立120周年を迎えます。本校は創立110周年を機に、次の10年に向けた「新総合計画(ビジョン21・旭丘)」を策定。「地域立・市民立」の私学の構想と「公費(公営)私学」の創造にチャレンジしてきました。さらに、今後多彩に推進してきたグローバル教育のさらなる前進に向けて2020年度に「国際クラス」を創設し、新たな青年期教育・中等教育と一貫教育を展望して「中高連携教育」「専攻科設置」「こども園設置」を構想しています。

新名学園私学教育研究所「5つの研究課題」

新名学園私学教育研究所は2009年10月に設置されました。
5つの課題のもと、子どもや生徒、保護者、教職員の現実の課題と結んだ研究活動が進められています。

- 1 私学と無償教育と公費私学創造の課題。
- 2 建学の精神・教育目標に沿って、子ども・生徒の発達研究。
- 3 日本国憲法の平和的生存権の保障、核兵器のない世界に向けた平和教育創造の研究。
- 4 地球環境と地域環境の問題についての研究。
- 5 小田原まちづくりに係る「学校と史跡の共生」「小田原のまちの教育・文化の創造」の課題。

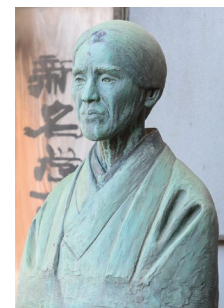
HISTORY

2022	学園創立百二十年記念式典 第2校地 第2グラウンド第一期工事完了
2020	第2校地 人工芝総合グラウンド完成
2016	海外留学生制度導入（モンゴルから入学）
2014	「新総合計画」策定 第1校地・第2校地総合整備構想 （2022年構想）とその中間政策 第2校地武道場（剣道・相撲）設置、制服改定 国際連携教育・中国西安外国語大学附属外国語学校、 安陽市開封区高級中学（高校）と姉妹校提携
2012	創立百十周年記念式典挙行
2010	私立高校就学支援金制度（公立高校授業料無償） 新名学園「私学教育研究所」設立
2009	第2校地中央センターⅢ期計画及び体育館完成
2007	第2校地中央センターⅡ期計画整備完了
2005	全学協議会結成
2004	学園総合整備中期全体計画策定
2003	創立百周年記念式典挙行、総合学科開設、 第2校地（久野・荻窪キャンパス）総合棟完成
2001	第1校地第1期総合整備完了
2000	第2校地取得
1999	教育目標改訂（現行「男女共学制復活実施 （学校と史跡の共生・地域文化センターづくり）」 第1校地第2次現状変更許可申請・全棟改築・改修・耐震工事） 旭丘高校の教育を守る会の設立 「高等学校設置基準問題」
1994	国連第44回総会で子どもの権利条約採択（1994年国会批准）
1989	学園総合整備構想（のち計画）策定
1986	第1校地第1次現状変更許可申請（現3棟）
1981	私立学校振興助成法制定
1970	商業科開設（のち総合学科に発展移行）
1961	学校法人新名字学園旭丘高等学校として認可 同年、箱根研修施設完成
1956	現小田原市民会館にあった校地から 現在の第1校地（城内キャンパス）に全校移転完了
1954	普通科開設
1953	私立学校法施行
1949	教育基本法制定
1947	日本国憲法公布
1946	関東大震災で校舎倒壊、同年復興
1923	私立学校（公の教育機関）神奈川県知事認可
1906	学園創立（裁縫・造花・編物伝習所の開設）
1902	

旭丘高等学校「建学の精神」

なくてはならぬ指折仲間の人となれ
悪しきとて、ただ一筋に捨つるなよ、
洪柿を見よ、甘干となる

1902（明治35）年に、新名学園旭丘高等学校を小田原の地に開設された新名百刀先生の講話です。生徒一人ひとりの可能性を大切にする建学の精神は、「全面的に発達した人間の育成を図る」とした現在の旭丘高校の教育目標に受け継がれ、国際化、情報化、個性化の「人間の世紀」を担う子どもたちを育てる私学づくりがすすめられています。



学園創立者 初代校長
新名 百刀

- 新名学園創立記念日
毎年10月1日(百刀生誕生日)
- 建学の精神を想う日
毎年9月第二月曜日
(百刀 祥月命日に近い月曜日)

理事長・学校長からのメッセージ



学園創立120周年
時代にふさわしい教育体制を整え
一人ひとりの可能性を大切に育みます

新名学園 旭丘高等学校
理事長・学校長

水野 浩

本校は2022年10月1日に学園創立120周年を迎えます。神奈川県私立82校のうち、10番目に創設され、これまで4万人近い卒業生を世に送り出しています。

(1) 2020年からの新型コロナウイルスのパンデミックによって教育現場も種々の活動に対して制約、試練を強いられてきましたが、本校では「ピンチをチャンスに変える」教育活動がさまざまな場面で取り組まれました。2年生が体験する修学旅行「ナガサキ平和学習」は、現地の「ナガサキの証言の会」の方々の協力・共同を得てオンラインで被爆講話や原爆資料館見学などを映像で体験、さらに浦上の被爆者の案内で原爆遺跡を訪ねる「碑めぐり」も添えられました。また、1、3年生が地域で学ぶ「模擬授業」は大学の先生や地域社会の専門家の方に来校いただきこれらの講座を開講することが出来ました。文化祭では生徒会が「Make our Happiness—マスクの下に僕らの笑顔」というテーマを掲げ創意と工夫を凝らして開催を実現させました。

(2) また一方で創立110周年を機に策定した「新総合計画」による教育条件の整備は全学の共同で進み、国連で採択されたSDGsを取り入れた教育活動にその特徴が見られました。たとえば第二校地に学びの場を持つ総合学科で生活する生徒が参加する地域の自治会の久野川・山王川一斉清掃活動、生徒自身が私学の無償教育実現へ向けて取り組む私学助成署名運動の学習会、生徒会総務が主体となって取り組んで実現した「女子スラックス着用」実現運動など平和、人権、ジェンダー、環境、共生などの面での種々なチャレンジは、着実に成果をあげています。

(3) これらの時代・歴史に向き合い開かれた取り組みは、Think Globally, Act Locally(地球規模で考え、地域で行動する)というこれまでの本校の教育理念と取り組みとの同一線上にあるもので、地域に根差し国際的視野をもった教育の展開・在り方を示しています。たとえば中国の2つの姉妹校(西安外国語大学附属西安外国語学校・安陽市開發区高級中学／いずれも高校)とは相互交流活動を行いました(コロナ禍ではビデオメッセージ交流等)。モンゴルの姉妹校(ツェツェーゲン大学附属高校)とも連携し、モンゴルからは相撲部に留学生も受入れています。2019年に開設した「国際クラス」には、アジア太平洋圏から約10か国の生徒を迎え入れ、独自の教育カリキュラムで国際的知識と感覚に優れた人間の育成を進めています。

(4)冒頭でふれたように本校は120年前に創立され、創設者である新名百刀先生が女性の経済的、精神的自立を目指すための「裁縫・造花・編物伝習所」を開いたのがその出発点です。そしてそこで学んだ生徒達が地域社会へ貢献を果たす前進の姿が見られます。時を経て、教育環境、教育内容は進化を遂げていますが、本校の教育の基本は変わらず、生徒一人ひとりの可能性を大切に、生活と教育を結び、それを広げていくものです。新名百刀先生が建学時に掲げた二宮尊徳の報徳四訓（至誠・勤労・分度・推譲）と「無くてはならぬ指折仲間の一となれ」の校訓にあるように、生徒たちが地域社会の要望に応え、未来を創っていく人間となる本校らしい地域立・市民立の学校づくりを進めています。